

定例記者会見（令和6年6月24日（月）12：00）会見場所：市政記者クラブ

1. 第6回マイクラフトカップ自治体パートナーの参画について

（総合政策部企画課）

本日の定例記者会見は、総合政策部、観光・スポーツ文化部からの2件となります。

1件目は第6回マイクラフトカップ自治体パートナーの参画についてのお知らせです。

マイクラフトカップとは、さまざまな教育現場で使われている「教育版マイクラフト」を使った作品コンテストで、毎年、SDGsなど社会課題に関するテーマが設けられ、子どもたちはチームや個人で課題解決につながるアイデアをマイクラフトの中で表現し作品を作る大会となっております。

そこで、本市のスマートシティの実現に向けたデジタル人材育成の一環として、プログラミングやデジタルものづくりにチャレンジする子どもたちを応援しようと、第6回マイクラフトカップの自治体パートナーに本市も参画し、地区大会において本市独自の審査による特別賞を設置しました。

この特別賞は、下関市から応募された作品のうち、今大会のテーマである「Well-beingをデザインしよう ～未来を楽しむために今できることを考えてみよう～」を最も表現することができた作品に「スマートシティしものせき賞」を授与します。

また、教育版マイクラフトが体験できるイベントを7/15（月）にゆめシティにて開催します。

本大会を通じて、本市の子どもたちがプログラミングやデジタルものづくりに触れながら、それぞれの個性や能力が発揮されることを期待しています。

この件については、以上です。

2. 第40回関門海峡花火大会について

(観光・スポーツ文化部 観光政策課)

続きまして、「第40回関門海峡花火大会」についてお知らせします。

海峡の夏を彩る一大イベントであります、関門海峡花火大会について、このたび岬之町埠頭・あるかぼーと会場をメイン会場とした大会の概要と、有料エリアの販売が決定いたしましたのでお知らせします。

例年通り、関門海峡の両岸から15,000発の花火があがるだけでなく、今年は40回目の節目ということで、さらにパワーアップして、特別な花火や新たなVIP席の販売も計画されていると伺っております。

また、昨年に引き続き、吉見にあります「ドローンスクール下関」によるドローンショーも開催されますが、こちらも昨年は500機だったドローンが800機に増え、さらに精緻^{せいち}で迫力のあるものになると伺っております。

こうした進化を踏まえ、本市も新たな取り組みとして、市外の方を対象に、有料エリアの観覧券をふるさと納税の返礼品に加えることとし、本日より受付を開始いたしました。

お盆を郷里で迎える人たちのための、また関門地域に更なる観光客を呼び込むための起爆剤として、例年以上に進化した、唯一無二の花火大会になると確信しております。

記者クラブの皆さんも、広報方々ご支援ご協力の程、よろしく申し上げます。

本日の定例記者会見は以上です。